

ネイチャーセンターだより

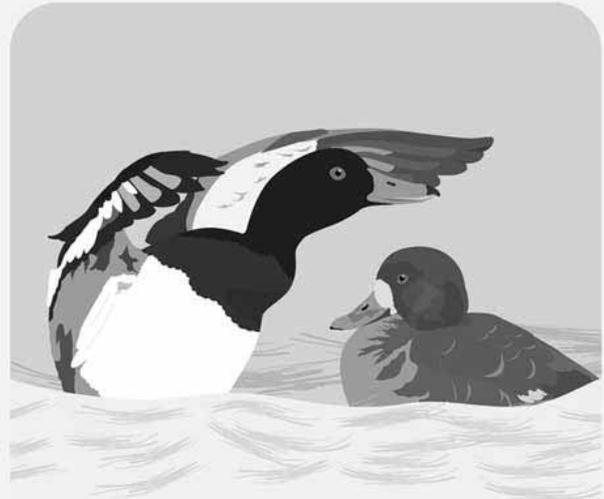
スズガモ

Greater Scaup

オスはお腹の白と頭の黒のコントラストがはっきりとした色合いのカモで、遠くからでもよく目立ちます。メスはほぼ全身が茶色でクチバシのつけねに白い部分があり、風蓮湖や海の上で見られます。

風蓮湖に氷が張ると、他のカモのように南へと渡っていきますが、根室半島の海で冬を越すものもいます。

冬の漁港に行くと、スズガモがエサを採るために海中に潜ったり、羽づくろいをしているのが間近に見られることがあります。



11月のイベント



お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで (0153-25-3047)

風蓮湖・春国岱フィールド講座 オオハクチョウ 聞いて 見て 知ろう!

日時 11月3日(祝・金) 10:30~15:00
対象 高校生以上
申込 10月31日(火)まで
費用 1000円/1人(保険・資料代として)
概要 厚岸町にある厚岸水鳥観察館の観察専門員として、厚岸湖を中心としてオオハクチョウの調査・研究をされている澁谷辰生氏を招き、オオハクチョウの生態、調査からわかってきたことなどの講演を行います。午後は実際に風蓮湖で、渡りの途中で休息しているオオハクチョウたちを観察します。



風蓮湖バスツアー

日時 11月19日(日) 9:00~15:30
対象 中学生以上、定員25名
申込 11月16日(木)まで
集合 根室市役所前 駐車場
費用 1000円/1人(保険・資料代として)
概要 風蓮湖をレンジャーと一緒に一周するバスツアー。根室市内からわずか20kmの距離にありながら、豊かな自然の広がる風蓮湖の見所を1日かけてご案内します。



自然情報 *10月* 風蓮湖のカモたち

春と秋になると、風蓮湖にはたくさんのカモがやってきます。ちょうど今は秋の渡りの季節。繁殖地・シベリアから、越冬地・日本の本州など暖かい地方へ向かう長い旅の途中の休憩地として風蓮湖で羽を休めています。風蓮湖は冬になると完全に結氷してしまうので、その前に、カモ達はさらに暖かい、水の凍らない地方まで旅立ちます。カモのオスはカラフルでキレイな羽をしている種類が多いのですが、今の時期はメスと同じような地味な色になっています。秋に風蓮湖で見られるオスのカモたちはまだ冬の羽への衣替えの途中で、地味な茶色をしているものが多いため、種類やオスメスが分かりにくいのですが、間違い探しのように細かい所を見ると識別できます。ぜひ挑戦してみてください。

秋のカモの渡り

シベリアから風蓮湖へ
9月中旬頃からやってきています。シベリアはカモやオオハクチョウの繁殖地となっています。

風蓮湖から日本の本州方面へ
風蓮湖の水が凍る前、12月頃には去っていきます。冬を南で過ごし、また春になると風蓮湖を経由してシベリアへと向かいます。

【オホーツク海】
海には、クロガモやヒロードキンクロという種類のカモが見られます。海ガモ達はここで冬を過ごします。

【走古丹】
春国岱の北側に位置しています。距離はありますがカモがたくさん見られます。

【新酪道路】
牧草地にヒシクイというガンの仲間が降りていることがあります。

【川口漁港】
小さな船着場です。漁師さんの邪魔にならないように注意。

【道の駅 スワン44】
春国岱の対岸に位置しています。館内に望遠鏡があり、タンチョウも見られます。

【春国岱ネイチャーセンター】
館内の望遠鏡や、双眼鏡(貸出無料)でカモを探してみよう！ 図鑑もそろっています。

オナガガモ オス
ちょっとひとやすみ

オナガガモ メス
湖が凍る前に、もっと南へ行かなくちゃ

オナガガモ オス
茶色
脇の羽に模様

オナガガモ メス
茶色
脇の羽に模様は無い

オナガガモ オス
茶 灰 黒
もう少しするとオスの羽は色鮮やかになります。この2種が最も数の多いカモです

オナガガモ オス
黄 赤茶 灰 白 黒

ヒドリガモ
風蓮湖にやってくるカモの仲間、オナガガモとともに数の多いカモです。オナガガモよりもずんぐりした体型のカモです。

ヒシクイ
ガンの仲間、カモとハクチョウの中間くらいの大きさです。

春国岱
3列の砂丘からなる沿岸砂州で、長さ約8km、最大幅1.3km、面積約600ha。

風蓮湖
海の水が入る汽水湖で、『風蓮湖・春国岱』としてラムサール条約湿地に登録されています。東西約20km、周囲約65km、面積約5600ha。

暗褐色

は、カモ・ガンの仲間を観察しやすい場所です。風蓮湖は、カモを観察しやすい見通しがきく場所が限られています。ここでは見やすい場所をご紹介します。カモに続いて渡ってくるオオハクチョウも湖のほぼ同じ場所で見られます。

センターでは双眼鏡の無料貸し出しを行っております。どうぞご利用ください。



ネイチャーセンター日記

10月7日から9日の3日間、根室地方は大荒れとなり根室測候所では観測史上最高の最大瞬間風速42.2mを記録するほどでした。この暴風雨のため普段は沖合で暮らしているトウゾクカモメやハイイロウミツバメが沿岸でたくさん見られました。しかしこの暴風雨で、森を回る散策路のキタキツネコースとアカエゾマツコースの木道が破損し、現在通行止めとなっています。春国岱・第一砂丘のヒバリ・ハマナスコースと、自然学習林の小鳥の小道は通行できますので、こちらを散策してください。



メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。（郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。）

連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp

～雑学クイズ～

今月の表紙にもなっている
スズガモ。
漢字で書くと鈴鴨なのですが
何が鈴のようなのでしょうか？

声

鈴の音のように
チリチリと鳴く

羽音

飛んでいる時に
鈴のような羽音がする

フン

鈴のように小さな丸い
ころころとした糞をする

答えは右側

団体向けプログラムのご案内

野外解説 (1～2時間 / 10～20名)

自然のお話 (25分 / 10～45名)

自然のクイズラリー (1時間 / 10～50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム

(0.5～2時間 / 10～20名)

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。

などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限らせていただきます。

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

電話 0153-25-3047 F A X 0153-25-8570

H P http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

メール nemu_nc@marimo.or.jp

10月の開館時間 9:00～16:30 (10月より16:30閉館になりました)

10月の休館日 4・10・11・18・25



2006.10 発行

クイズの答えは・・・